

相澤病院呼吸器外科のご紹介

～低侵襲で過不足のない呼吸器外科手術を目指しております！～

肺癌に対する胸腔鏡下区域切除術・葉切除術・開胸での合併切除術などの手術のほか、化学療法科・放射線治療科等との検討会を通じて、侵襲と根治性、QOLを考えた治療を心掛けています。その他気胸、縦隔腫瘍等に対しても胸腔鏡下手術を含め対応しています。

また、呼吸器内科をはじめとした多職種によるカンファレンスを積極的に行い、安心・安全・最善の方法を提案しています。何かございましたら、月曜・水曜に外来診療をしておりますので、お気軽にご紹介いただければ幸いです。

●呼吸器外科医師ご紹介



呼吸器外科統括医長
がん集学治療センター長
三島 修
外来日：月曜 AM/PM
水曜 AM



呼吸器外科医長
シミュレーションセンター長
三澤 賢治
外来日：月曜 AM
水曜 AM

●胸腔鏡下手術の積極的な適応

肺癌に対する胸腔鏡下手術は、適応を選んで積極的におこなっており、肺癌手術の70%程度が現在、胸腔鏡下手術となっています。区域切除術も適応症例を選んでおこなっています。最も低侵襲な外科治療は胸腔鏡下区域切除や部分切除と考えますが、十分な治癒が望める状態で手術療法に臨めることが必要で、そのためのドックや二次検診も受け付けています。



●カンサーボードによる症例検討と方針の共有化

呼吸器内科・呼吸器外科・化学療法科・放射線治療科(トモセラピー・陽子線治療)・緩和ケア科・放射線診断科(PET含む)、病理科など、呼吸器悪性疾患に関わる多くの専門科が週に一度集まり、治療方針の検討や術後病理の検討をおこなっています。これを通して、多くの視点から方針を決定していくように心がけています。また、集学的な治療に対しても、さまざまな治療の組み合わせ・順番など、横の強いつながりで効率的な対応をしています。

